

計画素案に対する意見と市の考え方について

No.	ページ数	意見概要	市の考え方
1	P71	成果指標について、「性的少数者に関する中学校向け講演会を受講したことのある中学生の割合」が設定されており、「原則各校で3年に一度、全校生徒を対象に実施し、在学中に一度は講演を聴講している状態を目標とする。」という説明がなされているが、この指標だけ行政側の活動指標に近いものになっている。	活動指標と成果指標を併せて確認することで、計画の進捗状況を把握したいと考えております。
2	P30~32等	女性リーダーを増やすときに妨げとなるものについて、「女性自身がリーダーになることを希望しないこと」という回答が5番目となっている(P31)。この結果から、女性活躍を妨げている要因として、女性の意欲が不足しているということは些細な問題に過ぎず、男性の意識が低いことが最大の問題ではないか。それにも関わらず、「女性の意欲向上、意識改革の取組の推進」を重点施策に掲げること自体、女性は意欲・意識が低いという思い込みがあるように思う。少なくとも、意識改革が必要なのは女性ではなく、男性ではないか。	政治・経済・地域等の各分野で女性のリーダーを増やすときに妨げとなるものについて、「上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと」と回答した割合は、女性44.4%、男性25.4%であり、男女間で認識の差が見られました。これらを踏まえ、女性活躍に関する意識改革のための取組の推進が必要であるため、施策の方向性及び主要施策(3)について、修正いたします(P31~32)。
3	—	若年世代はDVに関するSNS相談が多いが、宮崎では十分な体制がないため、SNS相談スキルを持つ民間団体に業務委託してほしい。	事業の1つのご提案として、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。
4	—	宮崎市が「DV根絶都市宣言」を掲げ、市民の意識を高めることが効果的であることから、横断幕を作り、庁舎に掲げてほしい。	事業の1つのご提案として、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。